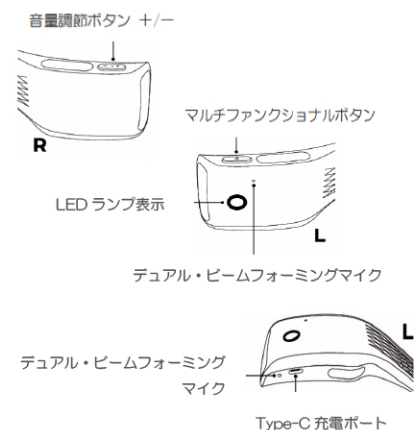


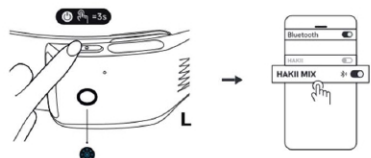
HAKII MIX HAKII MIXV HAKII MIXC

取扱い説明書

<本体概要>



<電源の ON/OFF とペアリング>



電源の入れ方：(電源が OFF の状態から)マルチファンクショナルボタンを 3 秒間長押しするとヘッドホン本体の電源が ON になります。

ペアリングの仕方：お持ちのスマートフォンの Bluetooth 設定でデバイス名「HAKII MIX」を検索し、タップしてペアリング接続を行います。

ペアリングが成功すると LED ランプが青く点灯します

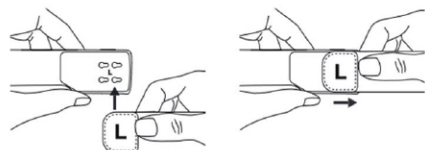
電源 OFF/ペアリング解除の仕方

電源 ON の状態から、マルチファンクショナルボタンを 4 秒間長押しすることで、電源 OFF/ペアリング解除になります。



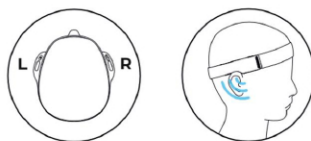
<装着の方法>

MIX の場合



図のように、ヘッドホン本体の両端にあるフック穴と、ゴムバンドの両端にあるフックを取り付けます。フック穴は 2 段階の調節が可能ですので、適度な長さに調節して下さい。

取り付け後に、一度ピンと張って取り付け部分を固定させて下さい。



ベルトと一体になったヘッドホン本体を頭からかぶります。ゴムバンドが前側(額部)にくるように、また、ヘッドホン本体のスピーカーが耳の前上にくるように装着します。

MIXV の場合



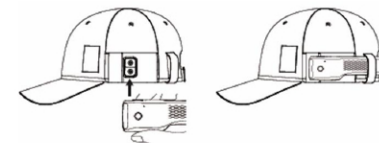
図のように、ヘッドホン本体の両端にあるフック穴と、サンバイザーの両端にあるフックを取り付けます。フック穴は 2 段階の調節が可能ですので、適度なサイズに調節してください。

取り付け後に、一度ピンと張って取り付け部分を固定させてください。



ヘッドホンと一体になったサンバイザーを頭からかぶります。サンバイザーのつばが前側にくるように、また、ヘッドホンのスピーカーが耳の前上にくるように装着します。

MIXC の場合

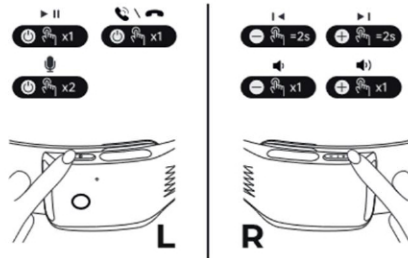


図のように、キャップの両サイドにあるフックをヘッドホン本体の両端にあるフック穴に取り付けます。フック穴は 2 段階の調節が可能です。キャップの後ろ側にヘッドホンベルトを通し、マジックテープで固定し、取り付け後に、一度ピンと張ってキャップとヘッドホン固定させて下さい。



ヘッドホンと一体になったキャップを頭からかぶります。キャップのつばが前側にくるように、また、ヘッドホンのスピーカーが耳の前上にくるように装着します。

<操作の仕方>



- 01 再生/停止：マルチファンクショナルボタンを 1 回押す。
- 02 ボイスアシスタント/Siri：マルチファンクショナルボタンを 2 回押す。
- 03 通話コールの受信：マルチファンクショナルボタンを 1 回短く押す。
- 04 通話を切る：マルチファンクショナルボタンを 1 回短押しす。
- 05 前の曲に戻す：音量ボタンの「-」を 2 秒間長押し。次の曲にいく：音量ボタンの「+」を 2 秒間長押し。

<製品仕様>

モデル：HAKII MIX / MIXV / MIXC

Bluetooth バージョン：5.3

防水基準：IPX5

コードタイプ：SBC、AAC

ダイナミックドライバー：22mm

周波数応答：20Hz - 20kHz

バッテリー容量：170mAh(est)

連続再生時間：8 時間 (50%充電から)

保証期間：購入後 1 年

<仕様に於ける確認事項>

- ① Bluetooth による携帯電話の通話の際、各キャリアの回線通話は、携帯電話から 10m 以内で、時速 30km 以下で移動中でも問題なく通話が可能です。SNS の通話アプリ (LINE/WeChat/Viber) では、通話が出来ない事が有ります。
- ② Bluetooth による携帯端末 (iPhone) との接続で、音楽を聴く場合は、携帯端末の設定で「サウンドと触覚」の「ヘッドホンの安全性」から「大きな音量を低減」の設定を解除して下さい。
- ③ HAKII 製品の保証期間は購入後 1 年間です。通常の使用で初期不良が発生した場合の保証を致します。改造や故意により発生した障害は対象になりません。

重要な安全上の注意事項



窒息の危険がある小さな部品が含まれています。3 歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。これがインプラント型医療機器に影響を与えるかどうかについては、医師にご相談下さい。



技適マーク
技術基準適合認定 R214-125443

- この製品を無断で改造しないで下さい。
- この製品は、現地の規制要件 UL、CSA、VDE、CCC 機関認定の電源のみで使用して下さい。
- バッテリーを含む製品を過度の熱 (直射日光や火気) などとさらさないで下さい。
- 充電する前に、イヤホンと充電ケースに付いた汗や水分などを拭き取って下さい。
- IPX5 基準の防水機能は、通常の使用により耐性が低下する可能性もあります。

【注意事項】

この機器は、FCC 規則のパート 15 に従ってテストされ、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉に対する適切な保護を行う為に設計されています。この機器は、高周波エネルギーを生成、使用、および放射する為、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合は、機器の電源をオン/オフすることで確認できます。ユーザーは、次の 1 つ以上の対策で干渉を修正することをお勧めします。

- ・ 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- ・ 機器と受信機の距離を広げる。
- ・ 受信機が接続されている回路とは別の回路に機器を接続する。

HAKII によって承認されていない変更または修正を行うことは、製品保証が無効になりますのでご注意ください。

この機器は、FCC 規則のパート 15 およびカナダ産業省のライセンス免除 RSS 標準に準拠しています。

操作時は、次の 2 つの状況が起こることがあります。

- (1) この機器は、有害な干渉を引き起こすようなことはありません。
- (2) この機器は、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受けてしまいます。

このデバイスは、FCC およびカナダ産業省が一般向けに定めた放射線被ばく制限に準拠しています。他のアンテナや送信機と一緒に設置したり、連動して動作させたりしないで下さい。



この製品は、指令 2014/53/EU およびその他の該当する EU の必須要件およびその他の関連規定に準拠しています。

Bluetooth：最大送信電力 20dBm EIRP 未満
最大電力スペクトル密度 10dBm/MHz EIRP 未満



このデバイスは、登録認定機関が技術基準適合認定を行った端末機器であります。

通信端末機器を電気通信事業者のネットワークに接続して使用する場合は、原則として利用者は、電気通信事業者の接続の検査を受け、当該端末機器が電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを確認する必要がありますが、登録認定機関から技術基準に適合していることの認定を受けるなどして技術マークが付された機器を接続する場合、当該端末機器の利用者は、電気通信事業者による接続の検査を受けることなく接続し使用することができます。

＜内臓のリチウムイオンバッテリーに関して＞

充電式リチウムイオンバッテリーをこの製品から取り外さないで下さい。

内臓の使用済みの電池は、地域の規制に従って適切に処分して、焼却は危険なので、絶対にしないで下さい。



この記号は、製品を家庭ごみとして処分してはならず、適切な収集施設に持ち込んでリサイクルする必要があることを意味します。適切な処分とリサイクルは、天然資源、人間の健康、環境の保護に役立ちます。この製品の処分とリサイクルの詳細については、地元の自治体、処分サービスにお問い合わせ下さい。



東京都台東区浅草橋4-20-5 翔和浅草橋ビル
info@utech.jp

サポートセンター
supprt@angelsystem.net